

# 従来のインターンシップ(体験型)との違いは? 実践型インターンシップとは?

「実践型インターンシップ」は、従来のインターンシップ(体験型)と異なり、企業から実際に問題となっている課題の提示を受け、学生が教員のサポートを得ながら企業と一緒に「実践的」に課題解決に取り組むという新しいスタイルのインターンシップです。

従来の「体験型」は、企業における実際の業務を体験したり見学したりすることで学生の職業意識と職業観を育成し、キャリアプランの形成に役立てるものです。

一方、「実践型」は、企業からの課題提示に対して学生が主体となり企業サイドと議論を重ね、自分達の知識や感性を活かして分析・研究を行い、そこから得られた成果を企業に提案したり、解決の糸口を見つけるというものです。

企業にとっては、社内の課題解決や問題点の明確化を図ることができるため、これまでに「実践型」を実施した企業からは好評を得ています。

また、学生にとっては実務に即した内容の濃い経験となるうえ、自分で考え行動する能力が養われます。

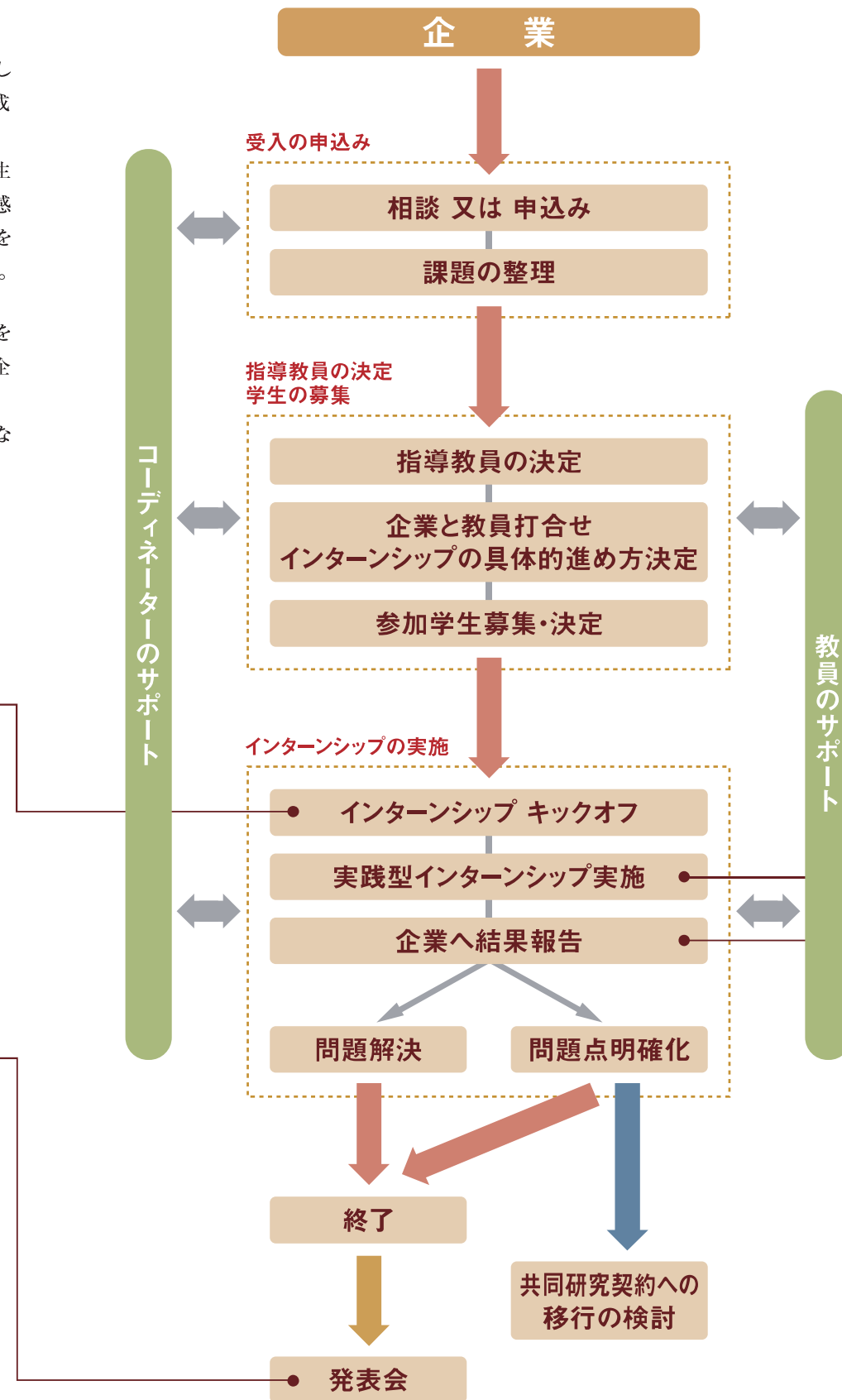


キックオフ



発表会

## 実践型インターンシップのイメージ図



### 企業から提示する課題の内容

これまで、いろいろな業種の企業で実施してきましたが、その内容は次のようなものです。

- マーケティング ●人材確保 ●技術開発 ●製品の評価、改良

これ以外の課題についても実施が可能ですので、ご相談ください。

### 参加対象学生、実施期間

参加する学生に制限は設けていませんが、学部3・4年生及び大学院生が主となります。実施期間は、短いもので2〜3週間程度ですが、課題によっては3か月以上になることもあります。

### 教員のサポートや報告会など、サポート体制の充実

大学で専門知識・技術を学んでいるとはいえ、参加する学生にとって実社会における経験と知識はほとんど未開発です。「実践型インターンシップ」を実施するに当たっては、十分な事前説明会はもちろん、実施中も教員やコーディネーターがしっかりとサポートします。

また、成果報告会やフォーラムなど、インターンシップが終了した後のフォローアップも実施します。企業にとっても普段見えにくくなっている問題を把握する格好の機会となります。

### ご相談・お申込み

ご相談・お申し込みは、香川大学キャリア支援センターまでご連絡ください。詳しくは本学のコーディネーターからご説明します。全体の流れは、イメージ図をご覧ください。



企業における実習



大学内での検討会



企業での報告会